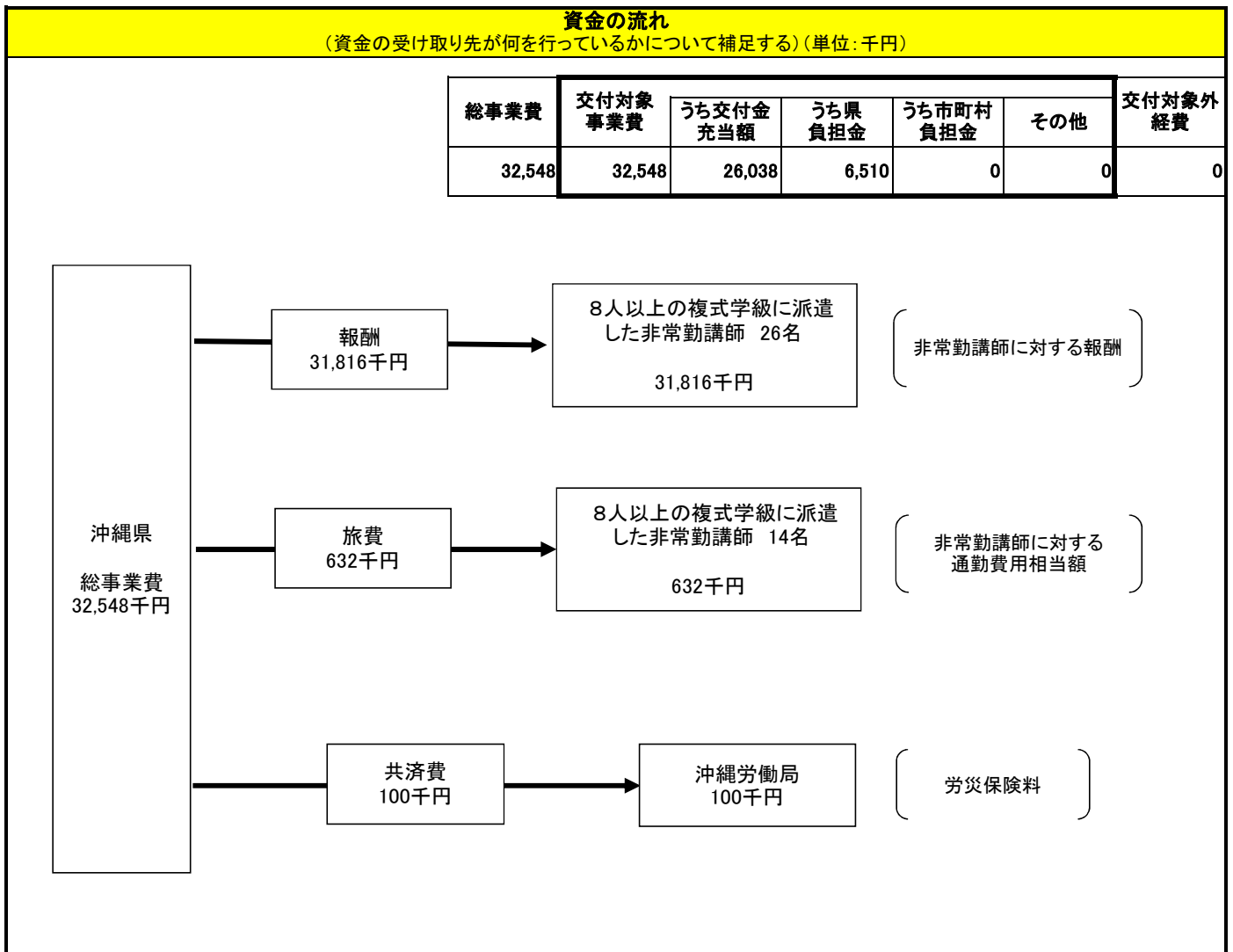


平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	223 複式学級教育環境改善事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア				
担当部課名	教育庁学校人事課	事業実施(予定)年度	H29 ~ R3 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充	
事業内容	個々の学力に応じたきめ細かな指導を実現し、児童の「確かな学力」の向上のため、複式学級を有する小学校へ学習支援員としての非常勤講師を派遣する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】		H28年度	H28年度(繰越)	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	105,550	0	78,436	0	68,632
		(b) 予算現額	66,017	0	55,521	0	40,573
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 39,533	0	▲ 22,915	0	▲ 28,059
		(d) 前年度繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計 (b+d)	66,017	0	55,521	0	40,573
	B. 執行済額		56,269	0	51,178	0	32,548
		うち交付金充当額	45,015	0	40,942	0	26,038
		C. 次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)		85.2%	—	92.2%	—	80.2%
予算の状況の説明		・非常勤講師の派遣対象学級数が見込みより減少したため、減額補正を行った。 ・執行率は80.2%であり、非常勤講師派遣対象学級33のうち6学級の未派遣が生じたため不用額が発生したことによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	非常勤講師の派遣	目標	57学級	41学級	42学級	33学級	
		実績	54学級	36学級	40学級	27学級	
		目標					
実績							
達成状況説明		・非常勤講師希望者がいなかったことによる未派遣学級が6となっており、派遣率は81.8%となっている。 ・非常勤講師の派遣によって、きめ細かな指導の実施や教材準備・研究の改善、児童の理解・集中力の向上等、学習環境の改善が図られている。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(23年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(R1年度)
	非常勤講師配置校における学力到達度調査平均正当率が、県平均値を超える割合(全学年、全教科) 100%	目標	—	—	—	100%	100%
		実績	—	28.6%	71.4%	100%	
	【H29以前の成果目標】 8名以上の複式学級において教育環境が改善された割合	目標	—	100%	100%	—	—
		実績	—	87.8%	95.2%	—	—
	【参考指標】 8名以上の児童で構成される複式学級のうち、非常勤講師が派遣されている学級の割合	目標	—	100%	100%	100%	100%
実績		—	87.8%	95.2%	81.2%		
進捗状況説明		・平成28年度は小3(国語)と小5(理科)以外の学年・教科、平成29年度は小5(国語)と小5(算数)が県平均値を下回っていたが、平成30年度は、全学年、全科目で県平均値を上回った。 ※学力到達度調査の学年・教科は、小3国語・算数、小4算数、小5国語・算数・理科、小6算数。 ・H30年度の成果目標は達成したものの、非常勤講師が未派遣となった学級が6学級あったため、非常勤講師の確保が課題となっている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師の採用については、以下の取組を実施しているものの、離島・へき地においては、教員免許保持者の絶対数が少なく、人材の確保が困難である。 ・事務所ホームページでの臨任等募集 ・学校からの情報提供 ・ハローワークへの求人募集 ・本務教員の配偶者(教員免許保持者)への依頼 ・教員候補者選考試験の応募票に任用に関する情報提供可否欄を設け情報収集 ・県内大学向けに臨任等募集の公告掲載依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員免許保持者の絶対数が少ない離島・へき地においては、過去に学校で臨任や非常勤講師等での勤務経験者や、地域に住む退職教員の情報だけではなく、地域と連携を図り、転入してくる人材のうち教員免許保持者であるかといった情報を、積極的に収集していく必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師の採用について、これまで実施してきた取組に加え、より地域と連携を図り、転入して来る人材の情報を積極的に収集していくため、以下の取り組みの実施する。 ・未配置となっている学校がある市町村の広報誌に、非常勤講師等の募集広告を掲載できないか市町村に働き掛ける。 		



資金の流 れ、費 目 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○報酬の支払先である学習支援員は、すべて8人以上の複式学級を有する小学校に配置されており、支払先として妥当であり、かつ事業目的に即したものであった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

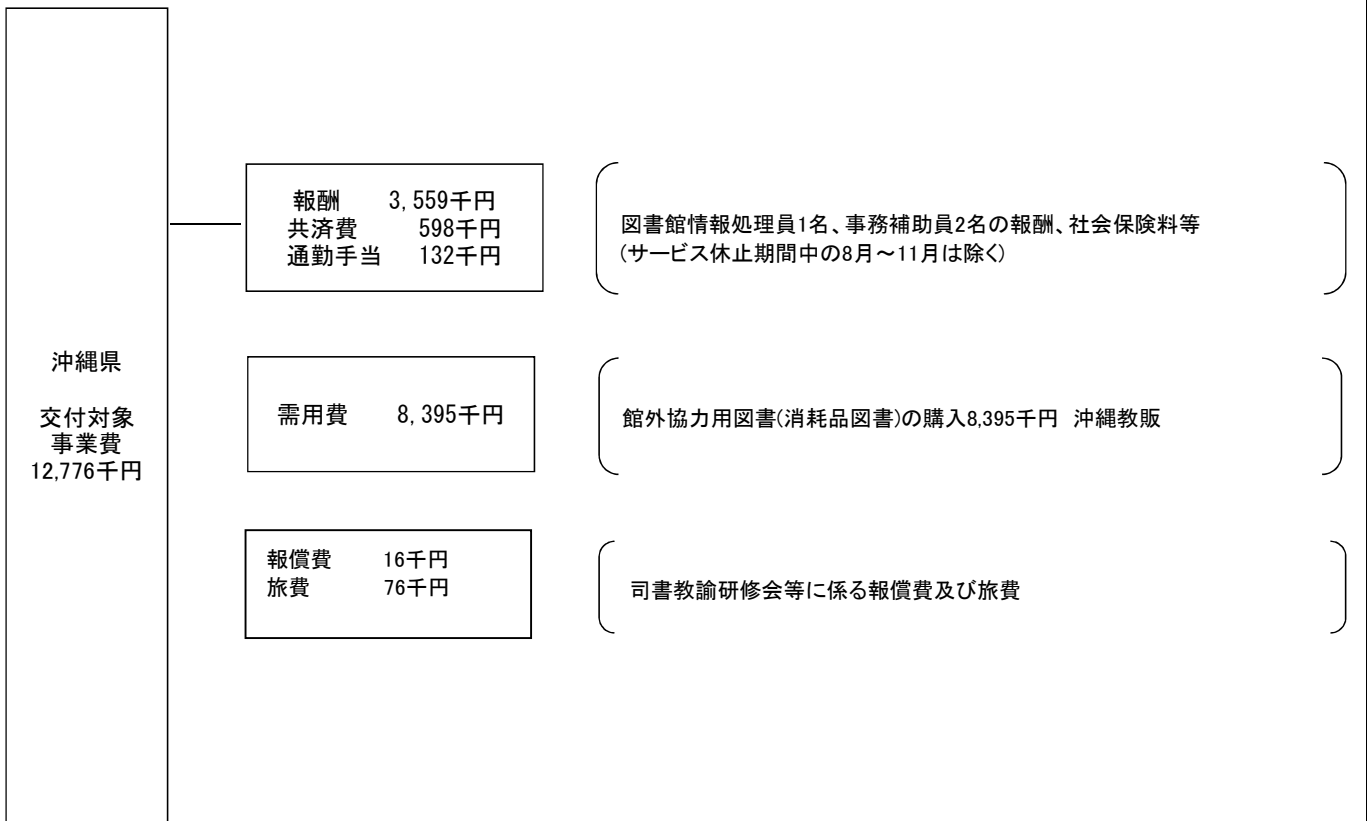
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	234 離島読書活動充実事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア			
	担当部課名	教育委員会生涯学習振興課		事業実施 (予定)年度	H27 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容		図書館未設置の離島町村の読書環境の格差の改善を図るため、遠隔地サービスに使用する図書の増冊や移動図書館の開催、一括貸出、読書活動推進に係る講演会を実施する。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		H28年度	H28年度(繰越)	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	14,806	0	17,641		13,390
		(b) 予算現額	14,806	0	17,641		13,390
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額	—	—	—		
		A. 計 (b+d)	14,806	0	17,641	0	13,390
	執行額	B. 執行済額	14,404	0	17,263		12,776
		うち交付金充当額	11,523	0	13,810		10,220
		C. 次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率 (%) (B/A)	97.3%	0.0%	97.9%	#DIV/0!	95.4%
	予算の状況の説明	・執行率は95.4%であり、概ね計画的に執行できた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	館外協力用図書の購入5,941冊	目標	5,000冊	6,000冊	7,617冊	5,941冊	
		実績	5,829冊	7,010冊	8,731冊	6,144冊	
	図書館未設置離島町村11町村において移動図書館19回	目標	—	—	—	19回	
		実績	33回	35回	35回	19回	
	一括貸出 82件	目標	—	—	—	82件	
		実績	35件	109件	147件	87件	
	読書活動推進に係る講演会 3回	目標	—	—	—	3回	
		実績	2回	2回	2回	2回	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・図書購入冊数、移動図書館の回数、一括貸出の件数については目標を達成した。 ・読書活動推進に係る講演会については、調整不足により目標に満たない2回の開催となった。 ・アンケートの分析や教育委員会など関係機関との連携により地域のニーズにあった活動を行うことができた。 ・県立図書館移転によるサービスの休止があったが、滞りなくサービスの再開を行うことができた。 						
成果目標 (指標) 及び進捗状況		基準値 (26年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値	
	利用者が、身近なところで読書ができる環境が整っていると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	目標	—	—	—	80%	—
		実績	—	—	—	85.7%	—
	【H29年度以前の成果目標】 遠隔地サービス(移動図書館・一括貸出・協力貸出)の貸出冊数 35,000冊	目標		27,000冊	35,000冊	—	—
		実績	16,945冊	29,736冊	31,958冊	—	—
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標である「地域住民が身近なところで読書ができる環境が整っていると感じるか」のアンケート結果については、実績が85.7%で達成となった。 ・地域主体の読書サービス実現のため、移動図書館の際の取り組みの工夫や積極的なアンケート調査を行い、地域のニーズの把握に努めた。 ・より多くの住民に参加してもらうため、沖縄美ら海水族館など様々な関係機関と連携し、集客増に努めた。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・利用者へのアンケート等から、利用者ニーズにマッチした選書を行うことができ、また、移動図書館開催時にイベント等の要望があったことを踏まえ、離島、へき地に対する子ども向け教育普及プログラムを行う様々な機関(沖縄美ら海水族館等)と連携し、各開催地においてワークショップ等を実施したことで集客増となったが、子ども向け教育普及プログラムだけではなく、より幅広い年齢層に対してアプローチを行う必要がある。</p> <p>・町村教育委員会への訪問やアンケート等を通して、教育委員会との連携を深めることができたが、より地域主体の読書活動を推進するため、地域の読書活動の拠点となっている学校図書館や公民館図書室との連携を深める必要がある。</p>	<p>・移動図書館においては、子ども向け教育普及プログラムはもちろん、大人向けの取り組み(健康・医療・子育て等)も積極的に取り入れ、更なるニーズの拡大を図る必要がある。</p> <p>・地域の読書活動の拠点である学校図書館や公民館図書室の訪問や業務相談等を通して、離島の読書環境の整備をする必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・利用者アンケートや地域の意見等を参考に大人向けの取り組み(健康・医療・子育て等)も積極的に実施し、利用者層の拡大を図る。</p> <p>・学校図書館や公民館図書室の訪問や業務相談等を実施し、地域が主体的に読書活動を行うことができるような環境整備の支援を行う。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
12,786	12,776	10,220	2,556	0	0	10



資金の流 れ、費 目 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○図書購入は入札で行っており妥当と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業終了となる令和3年までの年次計画に基づき、年度毎の購入計画を定めており、事業規模は適正である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	